

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	株式会社みんなの絆 放課後等デイサービスTsumiki			
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 10日		～	令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数)	23
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 31日		～	令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 8日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	設備において、個別対応や特性に合わせて個室で過ごすことが出来る。 厨房が1階にあり、昼食の提供ができる点 いろいろな職種の職員がおり、自由度が高い。	子ども達の意思を尊重し、どこでだれとどうやって過ごすのか決められるようにしている。 土曜利用ではない利用者にも本人に必要なと考える内容であれば利用を薦めている。 1つのことにとらわれず、様々な媒体から情報収集を行い、活動に取り入れている。	職員の配置を工夫して必要な時に支援ができるようにしていく。 専門的なことも学んで今よりもっとエビデンスのある支援を実施していく。
2	1階にB型事業所があり、作業を実際に体験することが出来る。 多機能型事業所なので、多職種連携での支援を行えている。 情報共有を行って事業所全体で利用者を見守ってもらっている。	送迎時にその日の様子を対面で伝えるようにしている。 情報共有を常に行っている。（家庭との連携） 朝礼等が難しい場合にはメモ等やLINEのグループでの情報共有・連絡の取り合いを行っている。（職員間の連携）	1人の気付きが全体の知恵にできるように部署間の連携の在り方を工夫していく。改善すべき点や方法を全員で検討すべく会議や打ち合わせの場を増やしていく。
3	インスタを通して事業所の雰囲気等、定期的に更新し情報を発信している。 10人定員の小規模の為、職員間の意思疎通のしやすさは感じている。	スタッフの紹介や活動内容を写真で発信している。 親しみやすさはブログのみの以前よりもUPしていると思う。	定期的にインスタを更新し発信する。 個人情報の点から写真を開示できない利用者が多く、難しいので他の方法も検討。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他機関との連携	同法人からサービス変更した利用者が多い為	新規利用者に関して相談員、過去利用した事業所や併用等の情報共有を行って包括的な支援を行う。また、卒業後の進路も支援していく為、学校や専門機関との連携も取っていく。
2	家族への支援 屋外での遊び場がない（敷地内） PTの専門性をもっと活かしたい。	家族参加のイベントは行っているが、勉強会などは行っていない。 屋外は駐車場のみ 人員配置や活動内容で専門的な活動の時間確保が行えていない。	制度やかかわり方についての勉強会も企画していく。 屋外活動の機会を増やす。 限られた利用時間を有効利用するオペレーションの構築。
3	建物の2階にあるが階段しか移動方法がないので、エレベータやスロープ等車いすや杖を使用した利用者がある場合の配慮が必要。 地域交流、他施設との交流、共有	今現在必要ないとの判断で設置していないが、今後検討していく。 今後、地域交流の自社イベントや地域イベントへの参加をしていく予定。	エレベータ・スロープの設置計画 事業所のPR活動・学校を介してのつながりを持っていく。